

士別市における地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業2年目）

士別市地域公共交通総合連携計画の目標

効率的で利便性の高い持続可能な公共交通体系の構築をめざして

- ・公共交通の利用促進のための環境づくり
- ・地域の大切な移動手段の維持・確保～公平性ある利用者負担のあり方等の検討～
- ・まちづくり・地域との一体的推進

22年度総合事業計画の概要

1) 武徳デマンド実証運行

運行期間：H22.11～H23.3
運行ルート：士別駅～武徳12号
運行本数：1日2便 土・日・祝日運休
運賃：110円～530円
運行事業者：士別軌道（株）

2) バス停の整備



3) ハイブリッドバスの導入



4) バスマップの配布



士別市地域公共交通活性化協議会開催状況

6月14日 第1回協議会を開催

会長・委員・規約の変更、H2実績・監査報告、H2事業計画について協議

9月28日 第2回協議会を開催

武徳デマンド実証運行、朝日乗合タクシー、朝日循環バス、総合福祉センター便について協議
絵画コンクール選考会実施

5) バスの絵画コンクール実施

公共交通に対する理解と関心を深め、子ども達にバスを身近なものとして捉えてもらうことを目的に絵画コンクールを実施。優秀作品をH21に導入したハイブリッドバス車内に展示。



金賞に選ばれた小学4年生の作品

22年度事業の実施状況 (武徳デマント実証運行)

1) プロセス、創意工夫

限定された狭いエリアの利用者のみ対象とならざるを得ない経路。
 極端に低い乗車率。利用者がいなくても終点まで毎日運行。

？
 実質1日3便から2便に集約。

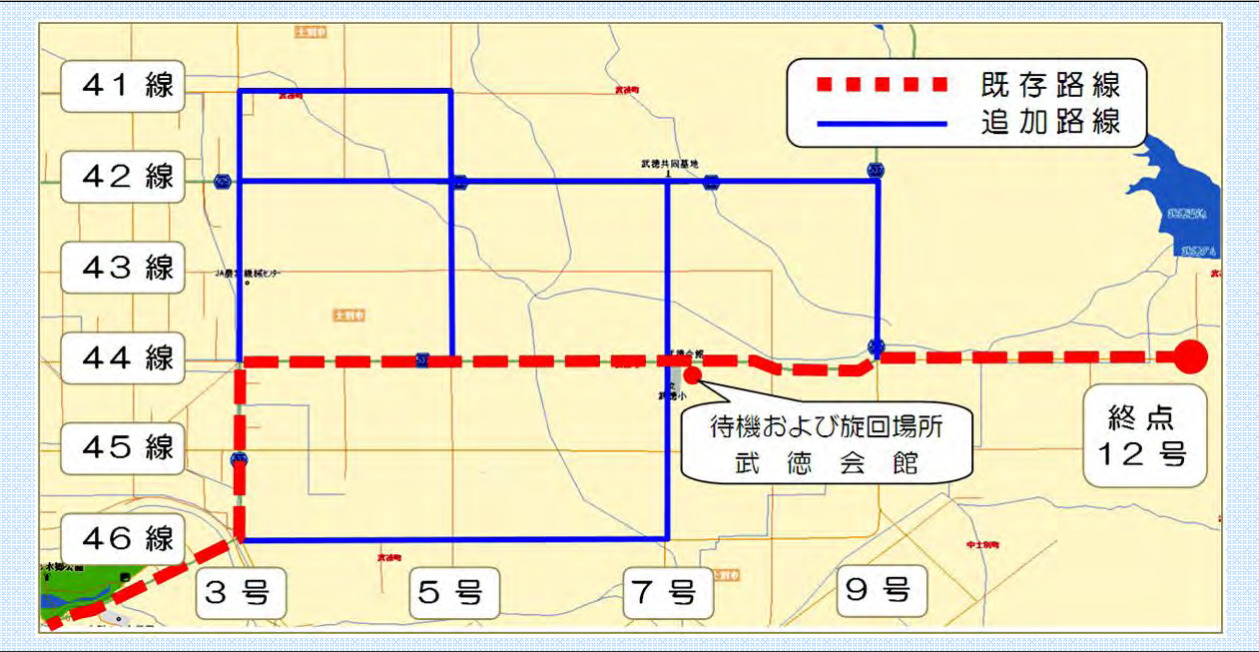
？
 デマント方式を導入し、完全予約制に。

？
 効率化が図れる分、武徳地域のほぼ全エリアをカバーして運行。

？
 4月からの本格運行を目指す。

6月 30日	武徳自治会打合せ
8月 23日	武徳老人クラブ説明会
9月 3日	武徳自治会・中学生保護者合同打合せ
9月 13日	武徳老人クラブ説明会
10月 19日	地域政策懇談会 (武徳地区)
10月 20日 ~ 26日	乗車対象者調査
11月 1日	武徳デマントバス実証運行開始

2) 武徳デマント運行ルート



3) 運行実績

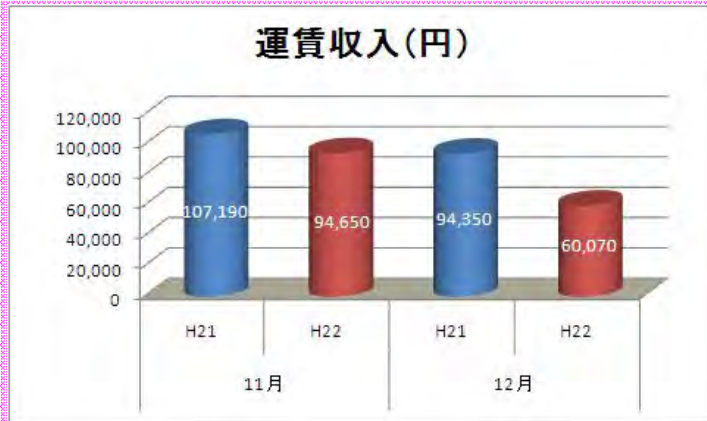
運行データ	平成22年度		平成21年度		前年比	
	1月	12月	11月	12月	11月	12月
運行日数 (日)	19	22	20	20	105.3%	90.9%
運行回数 (回)	114	124	48	54	42.1%	43.5%
実車走行距離	1,185	1,290	510	530	43.0%	41.1%

乗車データ (人)	平成22年度		平成21年度		前年比	
	1月	12月	11月	12月	11月	12月
現金	18	21	19	21	105.6%	100.0%
敬老	103	122	12	17	11.3%	13.9%
スクール	360	288	360	204	100.0%	70.8%
合計	481	431	391	242	80.8%	56.1%

収入データ (円)	平成22年度		平成21年度		前年比	
	1月	12月	11月	12月	11月	12月
現金	3,950	4,420	4,410	4,760	111.6%	107.7%
敬老	23,310	27,010	4,440	6,290	19.0%	23.3%
スクール	79,930	62,920	85,800	49,020	107.3%	77.9%
合計	107,190	94,350	94,650	60,070	88.3%	63.7%

4)収入実績

予想していたほどではないが、やはりデマンド化により運賃収入に若干の減少が生じた。特に7歳以上の高齢者の利用が減少していることから、老人クラブ等の意向を調査する必要がある。



5)事業実施効果

これまでの、実質1日3便から2便へ集約したことと、デマンド化による無駄な運行の減少により、大きく効率化が図られた。

4月からの本格運行にむけて、効率性の面では一定の成果が得られたものの、利用者の声を聞く中で、より利用実態に合ったものに見直し、利便性とのバランスのとれたデマンド運行を目指す必要がある。



6)今後の課題

- 予約の煩わしさ等により、74歳以上の高齢者の利用が減少していることから、利用率向上に向けた取り組みが必要。
- 当初の予定よりも狭いエリアでの運行となっていることから、4月からの本格運行に向けてPRが必要。
- 夕方の便の利用率が低いことから、利用者の声を聞く中で時刻表の見直しが必要。
- 車両の小型化を図り、よりフットワークの良い運行を目指す必要がある。

自己評価のポイント

- ・ 昨年の評価を基に、22年度の事業を計画通り実施しており、その結果や内容分析から問題点や新たな課題を検証した。
- ・ 武徳地域のデマンド実証運行については、高齢者の利用が想定を下回っていること、想定していた武徳全域をカバーする運行につながらなかったことなど、本格実施に向けては課題が残されている。

二次評価のポイント

- ・ 自己評価のとおり。
- ・ 本格実施に向けて所要の改善を図り、最終年度の取り組みに期待する。